

2025年度教育テーマ：「日々、急変時看護を意識しよう」

苦手意識を持たず急変対応ができるように、急変に備える

項目		日程	形式	対象者	目的・目標
経年別研修	新採用者研修	4月	講義 実習	新卒者	当院の特性を知る。 就職人としての意識を持ち、仕事に臨む準備が出来る。 基礎看護技術を学ぶ。
	新人3か月研修	7月	懇談	新卒者	3ヶ月間を振り返り、仲間との相互作用を通して、チームにおける自分の立場を理解し、愛育病院の一員としての活動ができる。 ①日々の指導者に報告・相談ができ、スタッフとのコミュニケーションがとれる。 ②基本的な看護技術を、マニュアルに沿って行える。 ③一日の業務や週間業務がマニュアルに沿って行える。 ④患者とのコミュニケーションがとれる。
	新人6か月研修	10月	懇談	新卒者	6ヶ月間を振り返り、仲間との話し合いを通して、自分の看護が展開できるようになる。 ①日常の看護を振り返り、自らの問題点を探る事が出来る。 ②①で気づいた問題点を、参加者メンバーが各々の問題点として捉え、その問題を引き起こしている原因を明確にし、解決の糸口を見出すことが出来る。
	看護過程Ⅰ	11月	グループワーク	新卒者	他の人の意見や考えを聞き、自己のアセスメントとの違いを知り、様々な角度から看護過程を展開できる能力を養う。 ①看護過程の展開に取り組み、患者の全体像を把握できる。 ②アセスメントを行い、看護の方向性を示すことが出来る。 ③看護の目標を具体的に設定し、評価できる。 ④個別性を尊重した日常生活の援助に結びつけて考えることが出来る。
	新人1年目フォローアップ	3月	シミュレーション	新卒者	多重課題・時間切迫の状況下で安全に優先順位を選択し、患者に適切なケアが提供できるかどうか、シミュレーション研修で実践し評価する。
リーダー別	中途採用者研修①～⑤	5回/年	懇談	中途採用者	前の職場とのフラッシュバックや、混乱・戸惑いを解消し、それぞれが持っている様々な経験を活かして仕事ができる。
リーダーシップ研修	リーダーシップ研修Ⅰ	9月	基調講演 グループワーク	該当者	看護実践を通し、自己の看護感を発展させるとともに、リーダーシップが発揮できる。 ①リーダーの役割を理解する。 ②チーム内での自己の役割・位置を理解し、日常業務の中に自己のできることが見いだせる。 ③リーダーシップに関する自己の態度を振り返ることで、問題意識を持ち、自己啓発につなげることができる。
	リーダーシップ研修Ⅱ	8月	グループワーク	該当者	グループワークを通し、自己の看護観を発展させるとともに、組織の一員としてリーダーシップを発揮できる ①問題解決や業務改善を図ることができる 組織の一員としての立場と役割を認識し、円滑な人間関係が持てる

項目		日程	形式	対象者	目的・目標
トピックス研修	輸血の安全な取扱いと看護	4月	講義	新就職者	輸血時の看護 ・ 当院での輸血の流れ・輸血施行時の観察点・輸血時におきやすい副作用 ・ 輸血にまつわる事故事例・休日の対応
	内視鏡研修	10月	講義	新卒者	内視鏡センターで行われている検査・治療を見学し、前処置や、処置後の看護に役立てる。 PACSの記録の見方を知る。
	手術室・中材研修	10月	講義	新卒者	安全で円滑に患者が入室できるように手術準備および入室方法の確認。実際に麻酔導入や挿管体験（見学）から急変時に活かす。手術見学により手術を受ける患者の心情を理解する。（手術が無い場合は挿管練習や患者体験の実施）中材では衛生材料の位置や持ち出し方法の確認、滅菌物の保管、滅菌破綻について学ぶ。
	がん薬物療法 ①基本的な知識の習得	5月	講義	新就職者	がん薬物療法中の、看護ケアのポイントを理解し、看護実践に活かす
	がん薬物療法 ②症状への基本的対応の理解と実施	5月	講義	新就職者	がん薬物療法に伴う主な有害事象の発生機序と予防について学ぶ。 がん薬物療法に伴う主な有害事象出現時の援助ができる。
	がん薬物療法 ③治療薬の違い（作用機序）	6月	講義	新就職者	抗がん剤の特性に応じた副作用を理解し、観察できる。
	がん薬物療法 ④曝露対策	6月	講義	新就職者	抗がん剤を取り扱う看護師が、曝露対策について正しい知識を持ち、安全に取り扱うことができる。
	急変時の看護 初期対応～AED	12月	講義 実習	看護部全員	急変を予測～初期対応（BLS～ALS）～AED～静脈路の確保～薬剤投与（救急カート）までを関連付けて理解する。
	急変時の看護 挿管介助～人工呼吸器装着	11月	講義 実習	看護部全員	気管挿管の準備と介助、人工呼吸器への装着と初期設定について理解する。
急変時の看護 急変対応のシミュレーション	2回／年	講義	看護部全員	急変時のチーム医療、急変時の役割分担を考える。 夜間を想定したシミュレーションで、実践力を高める。	
看護の日	5月	看護体験	看護協会 より希望者	高齢化社会を支えて行くために、入院患者さんとのふれあいを通して、「看護の心」について、関心と理解を深めてもらう。	